



2026 年 7 月 30 日

コスモエネルギーホールディングス株式会社

コスモ石油マーケティング株式会社

コスモ石油マーケティングが東京都の「国産 SAF 利用促進緊急対策事業」に採択

コスモエネルギーホールディングス株式会社（代表取締役社長：山田 茂）のグループ会社であるコスモ石油マーケティング株式会社（代表取締役社長：高山 直樹、以下「当社」）は、国内初の大規模生産による国産 SAF (Sustainable Aviation Fuel: 持続可能な航空燃料) の羽田空港における供給について、東京都の「国産 SAF 利用促進緊急対策事業」（以下「本事業」）に採択されたことをお知らせします。

本事業は、中東情勢の影響により既存航空燃料の価格が急騰し、SAF の需要の減退が懸念されることから、新たに既存航空燃料との価格差を追加で補助することで、国産 SAF の利用の一層促進をめざす目的で、東京都が実施するものです。当社は、東京都の 2026 年度「国産 SAF 利用促進事業」※1 への採択※2 に続き、本事業に採択されました。

本事業を通じて、羽田空港へ就航する航空会社による国産 SAF のさらなる利用拡大が促進されるものと期待されます。

本事業の対象となる SAF は、2021 年に NEDO（国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構）の「国産廃食用油を原料とする SAF 製造サプライチェーンモデルの構築」助成事業として採択され※3 取り組んできたものであり、国内で初めて大規模生産される国産 SAF です。持続可能な製品の国際的な認証制度「ISCC CORSIA 認証」「ISCC EU 認証」を取得しています※4。コスモ石油株式会社（代表取締役社長：西 克司）、日揮ホールディングス株式会社（代表取締役会長兼社長 CEO：佐藤 雅之）、株式会社レボインターナショナル（代表取締役 CEO：越川 哲也）の 3 社により設立された合同会社 SAFFAIRE SKY ENERGY（代表者：高田 岳志）が製造し、2025 年度よりコスモエネルギーグループを通じて羽田空港に就航するエアラインに供給しています。

コスモエネルギーグループは「2050 年カーボンネットゼロ」をめざし、日本初となる国産 SAF 供給に向けてサプライチェーン構築を進めてまいりました。また、SAF 原料としての再利用を目的として、サービスステーションでの廃食用油の市民回収実証を継続的に展開するなど、社会全体の機運醸成も後押ししています。今後も、脱炭素化や循環型社会の実現を重要なテーマと認識し、社会的課題の解決と企業の持続的発展をめざすとともに、引き続き航空輸送における SAF 利用を推進し、資源循環とサステナブル社会の実現に貢献してまいります。

- ※1 助成対象経費は、航空会社への国産 SAF の供給価格と、国際競争力の高い海外 SAF の供給価格との差額。
- ※2 2026 年 5 月 27 日プレスリリース
「コスモ石油マーケティングが東京都の 2026 年度『国産 SAF 利用促進事業』に採択」
<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2026/260527-01.html>
- ※3 NEDO ウェブサイト https://www.nedo.go.jp/koubo/FF3_100312.html
- ※4 2024 年 12 月 13 日プレスリリース
「ISCC CORSIA 及び ISCC EU 認証(国際持続可能性カーボン認証)の取得について」
<https://www.cosmo-energy.co.jp/ja/information/press/2024/241213-01.html>

以上

【本件に関するお問い合わせ先】

コスモエネルギーホールディングス株式会社
コーポレートコミュニケーション部 広報グループ 横山
cosmo_pr@cosmo-oil.co.jp